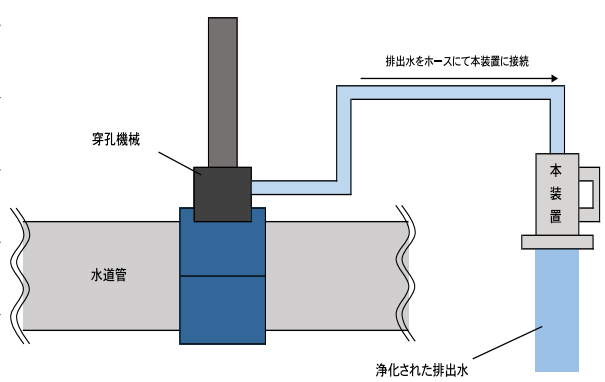


新技術・新工法

登録番号	22037	
新技術名	枝管設置時の排水浄化装置「洗管クン」	
副題	給水管穿孔工事時に発生する排水を簡便に浄化する装置	
従来技術名	送水管工事の際に発生する洗管の排水を布地等によりろ過	
活用区分	—	
新技術等の区分	製品	
新技術等の分野	環境	
NETIS番号	QS - 220008 - A	
問い合わせ先	熊管工株式会社 096-321-6961	

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・従来技術と比べて、異物に対する捕獲効率が高まり、異物による詰まりも抑制される。(処理なしの場合と比較し、SS値では、従来技術での除去率が2.47%だったものを90.12%へ向上。鉄の含有量では、従来技術での除去率が11.32%だったものを58.49%へ向上) ・従来工法においては、穿孔により発生した切りくず、切断片等は管外への排出のみをおこなっており、大きなくず以外は、排水水と共に環境中へ廃棄されている。 ・新技術の導入により、「穿孔により発生した切りくず、切断片等」を簡易に十分に除去することが可能となり、環境中への廃棄がなくなることで、環境負荷の低減に繋がる。
特徴	現状、送水管工事(枝管設置時等)の際に発生する洗管の排水については、有効な浄化手法が確立されていない。新技術により、工事により発生する排水を、確実に一定の基準値以下に浄化することを可能とする。また、装置は小型であり、持ち運びが容易で、使用も簡便である。
適用可能な箇所	1自然条件 0℃以上の環境下にて使用 2現場条件 作業スペース 3m×3m程度必要 3技術提供可能地域 全国 4関係法令等 特になし
施工単位等	新技術 63,714円/回 従来技術 61,764円/回